

県内景況情報

10月期

製造業

〈食料品〉

〔パン製造業〕

売上は伸びたが材料代も上がっており、利益は若干の増加に留まるのではないかとと思われる。

〔乳製品製造業〕

酪農家の減少による原料乳不足が喫緊の課題である。消費が伸び悩む中、販売価格の値下げが懸念される。

〔味噌製造業〕

原料(大豆・米)の価格上昇と出荷減による収益減少。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

売上は、昨年度と同水準を何とかキープしているのが現状である。

〔木材製造業〕

10月7、8、9日に「大川木工まつり」が開催された。出展企業160社から約1万点もの商品が木工まつり限定の特別価格で展示即売された。また、今年は「職人めぐり オープンファクトリー工場見学」として普段入れない工場や職人の作業風景を見学でき、大川のPRにもなったと思う。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

組合員のうち日産下請企業があり今後の受注に不安。

〔一般機械器具製造業〕

電気使用量は前年同月比105.1% (前々年同月比103.2%)。

〈電機機器〉

〔電気機械器具製造業〕

10月度売上高は、先月より増加(前年同月比でも同様)。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており、来月度以降の増産を期待している。

〔電気機械器具製造業〕

半導体関連の業界の仕事を持っているところは忙しい。一部入荷できない部品も出てきており全体的に納期が遅れている。それ以外の業種は特に良くも悪くも無い。

非製造業

〈卸売業〉

〔飲食料品卸売業〕

昨年に比べ輸入青果物が減少。国内産が昨年に比べ安定しているため。

〈小売業〉

〔書籍小売業〕

全国書店組合加入書店数 10月1日現在3,395店。4月1日より109店減少。

〈サービス業〉

〔ビル管理業〕

当月の売上は、前年同月と比べると約13%減少し、且つ、前々年同月と比べると、約42%ダウンとなっている。日経平均株価の上昇などは、中小企業には無縁である。

〔クリーニング業〕

夏の衣替えシーズンで多少売上がアップしている。相変わらず低料金の流れがあり、業界としては厳しい状況が続いている。

〈建設業〉

〔職別工事業〕

仕事量は堅調に推移し、殆どの組合員は3ヶ月以上の受注を確保しているため、大変忙しい状況が暫く続くと思われる。

〔建築工事業〕

仕事量は変わらないが技術者不足が深刻化しており、工程管理等に苦勞している。

〔建築工事業〕

引合は多いが、技術者や下請職人の不足で応じきれないでいる。

〈運送業〉

〔倉庫業〕

儲けの割りには人件費が高いので、収益的には変わらず。

〔一般貨物自動車運送業〕

10月も各組合員平均で売上は増加しているが、収益は前年より燃料単価増により前年比マイナスとなっている。燃料単価が収益を大きく左右するので今後も注意が必要である。

福岡県の業種別D・I値の変化

(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	→	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	↓	→	→	↓	→	↓	↓	→
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	↓
	印刷	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	→
	窯業・土石製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	電気機器	→	→	→	→	↑	↑	↑	→	→
	卸売業	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	→
	商店街	↓	→	→	→	↓	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-18	-16	7	-7	-24	-6	-6	-10	-21

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、数値が下降したのは9項目中6項目であった。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>